

第11回日本財団ホスピスナース研修会 海外視察報告

「デーケン先生と行く カナダ ホスピス視察研修」に参加して



外旭川病院 赤木 郁子

内容

1. Perram House紹介
2. Dorothy Ley Hospice紹介
3. May's Place Hospice紹介
4. デーケン先生の講義について
5. この研修で学んだこと

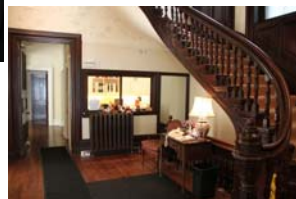
Perram House について

- 成人患者に終末期ケアを提供するトロントにあるホスピス
- 病床数:8床
- ホームレスや精神障害者が入所
- ナースが24時間対応、医師はon call、ボランティアは9時から21時まで対応
- 地域に根ざした施設としてボランティアの支援を受けている
- 費用は州保健省からの資金と寄付により賄われている

Perram House



Perram House 病室・ロビー



Perram House キッチン・リビング



Dorothy Ley Hospice について

- 1990年、トロントに設立されたホスピス
- 病床数:10床
- 院内ホスピスだけでなく、コミュニティーサービスにも力を入れている地域に密着した施設
- 家族への支援や専門職・ボランティアへの緩和ケア教育などのサービスを提供している
- 患者・家族に対し多くのボランティアの支援がある

Dorothy Ley Hospice



Dorothy Ley Hospice

浴室・病室・リビング・ファミリールーム



Dorothy Ley Hospice

スタッフルーム



Dorothy Ley Hospice 研修の様子



May's Place Hospice について

- 1990年、バンクーバーのダウンタウンに設立されたホスピス
- 病床数:6床
- 精神疾患や薬物依存症などの問題を抱える人が入所
- 家庭的な環境の中で家族・友人にも配慮された施設
- スタッフはナース、ケアワーカー、ソーシャルワーカー、医師、コックだけでなく、ボランティアも欠かせない存在

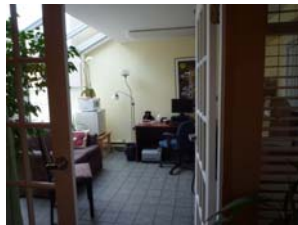
May's Place Hospice



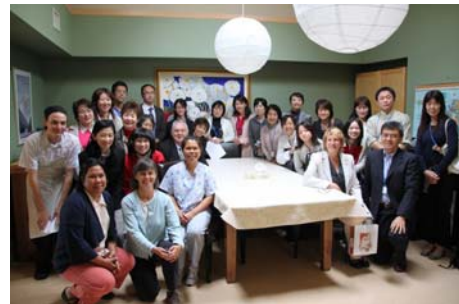
May's Place Hospice 研修の様子



May's Place Hospice リビング、クワイエットルーム、キッチン



May's Place Hospice リビング



デーケン先生の講義内容

- ホスピスの理念について
- ホスピスボランティアの基本精神について
- ユーモアについて
- 問題と神秘について
- 時間(クロノスとカイロス)について
- スピリチュアルペインについて
- 死に対する恐怖について
- ターミナルケアにおける音楽療法について

研修で学んだこと

- 緩和ケア病棟とホスピスの違いについて
カナダでは緩和ケア病棟は症状コントロールの場、ホスピスは最期を迎える場、日本では・・・？。
- 在宅における緩和ケアについて
カナダでは緩和ケアのベースは地域のコミュニティにあり、その鍵は医療・介護の管理を一元的に行う地域ケアセンター(CCAC)。
- 緩和ケアにおけるボランティアの役割について
ボランティアは緩和ケアを支えるために欠かせない存在。
- ユーモアの大切さについて
ユーモアは相手に対する思いやり。スタッフのストレス緩和にもユーモアは大切。